

1号機 事故時運転操作手順書 (徴候ベース) 改訂履歴

改訂 次 数	改訂年月日	施行年月日	改 訂 内 容
0	S.63- 9-30	S.63-10- 1	初版制定 福一原一発稟 63号5号 福一原二発稟 63号5号
1	H. 2- 1-11	H. 2- 1-12	「格納容器制御」PCV圧力制御の見直し
2	H. 3-10-31	H. 3-10-31	今次、規程・マニュアル整備の趣旨に沿い見直しを行い、新たに制定する (V-30-9・C1-0-0-1.1) 尚、改定回数については「2」として制定とする
3	H. 7- 3-13	H. 7- 3-13	1. 技術系職場新体制導入により課名変更に伴う改定。 2. 旧第二発電部発電課については、規程マニュアルNoを変更する。 (D1→C1)
4	H. 8- 2- 6	H. 8- 4- 1	本店及び、3店所合同による「EOP改定検討会」において[共研結果、自社研結果、OSART指摘事項、海外他社の良点]を検討し、改定する 1. 改良版EPG (Rev. 4) に基づく変更 (共研結果の採用) 2. AOPとEOPの体系を変更し、操作の遅れが生じない様にする 「原子炉制御」をスクラム発生直後より使用する「スクラム」(RC) に変更し、単一故障によるスクラムでも対応する (OSART指摘事項) また、 「スクラム」(RC) はパラレル表示とし、フローチャート通過後の変動にも対応する (自社研結果の採用) 3. 大型フローチャートを採用し、これに必要最小限の情報等を記入し事故時にチェックシートとして使用できる様式とする (OSART指摘事項) 4. フローチャートの判断基準において、グラフィック化及び、カラー化を採用する (自社研結果の採用) 5. フローチャートの記号変更で、使い勝手の改善 (海外他社の良点採用)
5	H. 9- 4-24	H. 9- 5- 6	第19回定検において、CCS-SHCタイラインが新設されたことによる見直し
6	H. 9-10- 1	H. 9-10- 1	当所 GM 制実施に伴う改定
7	H.11- 3-25	H.11- 3-25	D/G 増設に伴う既設 D/G の名称変更
8	H.11-10-25	H.11-10-30	第21回定検改造に伴う改定 (1) AM 対策
9	H.12-10-27	H.12-10-27	全交流電源喪失時、フローチャートの炉圧減圧方法見直し
10	H.13- 1- 6	H.13- 1- 6	新保安規定及び原災法制定に伴う見直し

履歴-1